

2016-2017 年度
国際ロータリー第 2660 地区

地区委員会

活動計画書



人類に
奉仕する
ロータリー

Rotary 

目 次

地区戦略計画委員会.....	1
地区研修委員会	2
クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕・拡大増強委員会	3
広報委員会	4
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会.....	5
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会.....	7
青少年部門	
青少年活動委員会	9
ローターアクト委員会	11
インターアクト委員会	13
青少年交換委員会	15
国際奉仕部門	
国際奉仕委員会.....	16
ロータリー財団部門	
地区財団監査委員会	18
ロータリー財団委員会	18
米山奨学部門	
米山奨学委員会.....	20
危機管理委員会	22
地区学友委員会	23
地区大会実行委員会	24
ロータリーの友	25
地区財務委員会	26
地区規定審議委員会	27
ガバナー指名委員会	28
意義ある業績賞委員会	29

地区戦略計画委員会

委員長	高島 凱夫 (大阪中之島 RC)
顧問	井上 暎夫 (千里 RC)
アドバイザー	横山 守雄 (大阪中央 RC)
委員	松本 進也 (大阪北 RC)
〃	立野 純三 (大阪 RC)
〃	片山 勉 (大阪東 RC)
〃	山本 博史 (大阪南 RC)
〃	浜田 晋 (大阪北 RC)
〃	塩谷 眞治 (大阪東 RC)
幹事	村橋 義晃 (大阪中之島 RC)
IM 再編オブザーバー	樋口 信治 (大阪 RC)

○活動方針

- ① 2015～2016 年度におけるアンケート調査において、63 クラブ(78%)がクラブ戦略計画委員会が設置される見込みであり、概ね当初の予定が達成されたものと思われる。残り 13 クラブでの委員会設置推進を DG 或いは ADG を通じ積極的に行う。また、既設置クラブの委員会運営活性化についてもサポートを行う。
- ② 2015 年 12 月の地区大会で決議された IM 再編を粛々と進めると共に、地区内各クラブへの丁寧な説明を行っていく。と共に、ADG の選出方法、地位の確立などについても検討し、新規 IM 発足時にはそれに沿った選出方法での ADG 就任を図る。
- ③ 2016 年規定審議会でクラブの組織運営により多くの柔軟性と自治権を与える数々の制定案が採択され、各クラブがおかれた地域特性を生かしたボトムアップの力で会員基盤の強化、特に若年層の入会促進が図られることになった。各クラブ「戦略計画委員会」による中長期的観点からの総合的な対応策検討が以前にもまして重要となる。地区戦略計画委員会としては、クラブ戦略計画委員会の活動を継続的に支援して行く。
- ④ 地区内各クラブ、地区委員会の声を良く聞き、改変が必要な部分があれば、迅速に検討する。

○活動計画

- ① 再編の推進。
- ② ADG 選出方法策定、地位確保の検討を行う。
- ③ 委員会未設置クラブを解消し、クラブ戦略計画委員会設置の 100%を図る。
- ④ 委員会既設置クラブの活動状況の把握を行い、委員会の活性化をサポートする。
- ⑤ クラブ戦略計画委員長会議の開催をタイミングよく計画する。
- ⑥ その他必要な事項。

地区研修委員会

リーダー	大谷 透	(大阪西南 RC)
サブリーダー	岡部 泰鑑	(大阪城南 RC)
サブリーダー	高島 凱夫	(大阪中之島 RC)
サブリーダー	福家 宏	(八尾中央 RC)
ガバナーエレクト	片山 勉	(大阪東 RC)
委員	川崎 壽	(大阪中央 RC)
	村橋 義晃	(大阪中之島 RC)
	簡 仁一	(茨木 RC)
	井川 孝三	(八尾 RC)
	川上 善司	(大阪平野 RC)
	木越 正司	(大阪西 RC)
	安井 一男	(新大阪 RC)
	辻本 一義	(東大阪 RC)
代表幹事	浜田 晋	(大阪北 RC)

○活動方針

会員各位が、老いも若きも、旧きも新しきも、ガバナーの方針に沿って、ロータリーの中核をなす価値観を身につけ、クラブライフを楽しみつつ、会員相互の交流によって無意識の内にロータリー精神が高められるようなクラブ作りのサポートを目指します。

そのためには自分にも他人にも、即ち人類に、最も適切と思われる奉仕のあり方を模索し、その追及に協力し合う関係の構築が求められます。そのようなクラブ作りの支援を活動方針とします。

○活動計画

① クラブの責任ある地位にある方々を対象としたセミナーの支援。

(PETS・地区チームリーダー研修セミナー・地区研修協議会を積極的に支援する)

② 新会員に少しでもより良くロータリー精神を会得して貰うための努力は、基本的にはクラブの責務である。しかし、クラブの枠を超えた奉仕は、ロータリアンとしての連携感と自覚を身に付けるためには有益である。クラブ研修のニーズに応じて、プログラムや情報の提供に努める。

③ 国際ロータリーの規定審議会の決定を正しく理解し、従来より大きく各クラブに委ねられることになった裁量権と自治権を、ロータリーの基本に沿って有効・適切に用いることが出来るように、指導にあたるガバナーやガバナー補佐をサポートする。

クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長 新居誠一郎（大阪南 RC）
副委員長 峠本 敏夫（交野 RC）
委員 西尾誠一郎（大阪大淀 RC）
〃 安部 吉宏（大阪西 RC）
〃 宮崎 史子（大阪そねぎき RC）
〃 加茂 次也（東大阪 RC）
〃 高橋 司（大阪東 RC）
〃 板垣 善雄（高槻東 RC）

○活動方針

本年度の地区の具体的目標の 1 つに、「戦略計画の推進(会員増強)」が掲げられています。当委員会はその戦略計画の 3 本柱の 1 つに掲げられている「クラブの活性化とサポート」を中心に、リーダーシップを持ちうる会員を増やすことを目標とし、会員増強に務めていく所存です。

具体的な活動方針としては、①会員増強に関する卓話依頼を委員会全員で積極的に受け、②各クラブでの会員増強の取組を整理し、情報提供できるよう調査研究を進めます。

○活動計画

- (1) 会員拡大増強セミナーの開催 2016 年 6 月 18 日実施
- (2) 各クラブでの会員増強に対する取組に関する調査・研究
- (3) 各クラブからの会員増強に関する卓話依頼

広報委員会

委員長	猪俣 由宇	(高槻東 RC)
副委員長	新井 信彦	(大阪東 RC)
	〃 梅原 一樹	(大阪中之島 RC)
委員	深江 慎介	(大阪フレンド RC)
	〃 藤田 和美	(大阪西南 RC)
	〃 松尾香津恵	(大阪アーバン RC)
	〃 細井 敦子	(大阪城東 RC)
	〃 近藤菜穂子	(大阪ネクスト RC)
	〃 橋上 聖	(大阪淀川 RC)
	〃 山西 陽祐	(高槻東 RC)

○活動方針

松本ガバナー方針「Ideal of service | ロータリーの根幹精神」に則り、地区内 81 クラブの広報活動をサポートし、地区との相互理解に努め、公共イメージと認知度の向上を図ります。

○活動計画

本年度当委員会は、

① 地区内 81 クラブの奉仕活動の紹介

当地区内における高潔性・多様性ある様々な奉仕事業を取材し、対内及び対外に紹介します。

② クラブ広報委員長会議

クラブと地区の対称性・双方向性コミュニケーションを実現させるために内容を検討します。

③ ホームページの拡充

ガバナー月信の IT 化に伴い、地区ホームページの創意工夫をこらします。

④ My Rotary の登録・活用推進

前年度に引き続き、My Rotary の登録・活用を推進しサポートします。

職業奉仕委員会

委員長	只井 恒満	(大 阪 西 R C)
副委員長	関谷 洋子	(豊 中 R C)
	〃 北村 譲	(大阪中之島 RC)
委 員	林 宏毅	(く ず は R C)
	〃 長谷 裕代	(大阪大手前 RC)
	〃 濱中真希子	(大阪北梅田 RC)
	〃 桑原 健郎	(大 阪 南 R C)
	〃 伊藤 晴夫	(大 阪 北 R C)
	〃 入谷 治夫	(高 槻 R C)
	〃 西口 宗宏	(大阪アーバン RC)
	〃 青田 朝代	(大東中央 RC)
	〃 中野 秀一	(大 東 R C)
	〃 山中 政彦	(大 阪 西 R C)

○活動方針

2016-17 年度、2660 地区松本ガバナーの方針は、“**The Ideal of service**”ーロータリーの根幹精神ーですが、この“**the Ideal of service**” とは「奉仕の理念」のことです。その奉仕の理念を実現するために必要なことは、「超我の奉仕」と「他人に最も良く奉仕する者が最も多く報いられる」ことの実践であります。

これらはロータリーの標語であると同時にロータリアンが追い求めていかなければならないことでありますが、職業奉仕を学ぶことで、そのことの理解ができるものと考えております。ロータリーは親睦や奉仕活動が大事であることは言うまでもありませんが、その基本理念を深く理解することが最も大切なことであると思います。

本年度は、2014-2015 年度より実施しております IM 毎の担任制を継続し、各クラブの職業奉仕活動の支援と情報交換を目的に行ってまいります。また、2015-16 年度に企画されていましたが実施出来ませんでした勉強会を実施する予定です。クラブの職業奉仕委員長の皆様には、それぞれのクラブに於いて職業奉仕月間には委員長卓話を行って頂くことやクラブフォーラムでリーダーシップを発揮して頂くことが理想であると考えています。そのためにロータリーの職業奉仕についてより深く知ることが大事であり、その研修の場として勉強会を行いたいと考えています。また、前年度に作成を行いました「職業奉仕 Q&A」は地区ホームページに公開されますので、クラブの職業奉仕委員長の皆様にはサポートツールとしてご活用して頂きますようお願い申し上げます。「継続は力なり」といいますが、地区職業奉仕委員会ではこれらの活動を継続事業として実施し、皆様のクラブの発展のサポートができるよう努めてまいります。

○活動計画

① 勉強会の実施

職業奉仕について研修することを目的に、クラブ職業奉仕委員長と地区委員の合同勉強会を行います。

② クラブ支援の実施

IM 担当者が窓口となり、各クラブのご要望の確認や情報交換を行い、支援を実施いたします。

③ アンケートの実施

各クラブの事業計画や活動報告をアンケートにて回答して頂く予定です。

④ クラブ職業奉仕新旧委員長会議の実施

本年度の集大成となる報告会であり、次年度への引き継ぎを目的に行います。

⑤ 地区委員会提供資料「職業奉仕 Q&A」の更新

皆様からのご意見や地区委員会内での議論により、資料内容の追加や見直しを行い、適切なものにしてゆきたいと考えています。

⑥ 地区委員会の実施

原則毎月 1 回実施。クラブ支援その他の事案について議論を行います

社会奉仕委員会

委員長	小林 知義	(大阪ユニバーサルシティ RC)
副委員長	望田 成彦	(摂 津 R C)
	〃 溝手 悟	(大阪天満橋 RC)
	〃 服部 潤承	(池田くれは RC)
委 員	塩尻 明夫	(大 阪 船 場 R C)
	〃 長井 正樹	(高 槻 R C)
	〃 山岡 裕幸	(大 阪 北 R C)
	〃 中道 孝治	(守口イブニング RC)
	〃 榎原 一滋	(吹 田 西 R C)
	〃 山田 耕司	(大阪御堂筋本町 RC)
	〃 木下恵美子	(大阪イブニング RC)
	〃 藤本 年朗	(箕面千里中央 RC)
	〃 栗津 直晶	(く ず は R C)

○活動方針

社会奉仕は、ロータリアンひとりひとりが「超我の奉仕」を実証する機会です。

16-17 年度ジョン・F・ジャーム会長が提唱された RI のテーマは「Rotary Serving Humanity(人類に奉仕するロータリー)」です。これを受けて、松本ガバナーは 2660 地区の方針を「The Ideal of service (ロータリーの根幹精神)」と定められました。人は社会からその恩恵を受け取ると同時に、還元してゆく責務がある。この自覚の上に立って、社会に向けて具体的な行動を行う事、これをサービスと言う。この基本理念をしっかり認識して、実践していこうと呼びかけられています。当然、サービスは各クラブでのオリジナルな社会奉仕活動が主体となります。地区の社会奉仕委員会は、各クラブの社会奉仕活動がより有意義のものになるようにサポートしていきたいと思っています。

また、2660 地区の社会奉仕委員会としての活動は、ロータリーファミリーであるローターアクトやインターアクトとの共同事業である献血活動の呼びかけや、大和川の清掃に積極的に取り組むと、共に、各クラブに地区の活動に参加して頂けるように、呼びかけていきたいと思っています。また、ロータリー財団委員会と連携して、地区補助金を各クラブでうまく活用できるように、社会奉仕委員長によく理解して頂くためのセミナーを、粘り強く開催していきたいと思っています。

○活動計画

■情報提供と研修

年2回のクラブ社会奉仕委員長会議の開催(9月17日 及び 4月頃〈未定〉)

- ・地区補助金の活用セミナー(ロータリー財団委員会)
- ・大阪湾再生の協力(国土交通省近畿地方整備局、大阪府等)
- ・献血活動の協力(赤十字血液センター)
- ・危険ドラッグ・薬物乱用防止活動の協力(大阪府健康福祉部)
- ・虐待防止について(児童虐待防止機構)
- ・日本における里親の現状(日本こども支援協会)

■2660 地区、他の委員会との共同事業(継続事業)

- ・献血呼びかけ活動の実施 (ローターアクト委員会・RAC)

7月23日・2月26日の年2回 【日本赤十字血液センター】

- ・大和川の護岸清掃活動の実施 (ローターアクト委員会・RAC)

3月 【大阪府・大阪市・国土交通省 近畿地方整備局】

- ・地区補助金の活用セミナー (ロータリー財団委員会)

9月・3月・4月 【クラブ社会奉仕委員長会議・地区研修・協議会】

■その他の事業

- ・国内大規模災害発生時の情報提供と支援のお願い。
- ・各種団体との連携、会議への出席とその情報提供
豊かな環境づくり大阪府民会議・エコ会議など
- ・卓話講師の派遣

日本赤十字血液センター・国交省近畿地整・大阪府健康福祉部

児童虐待防止機構・日本こども支援協会・ロータリー財団

地区社会奉仕委員会

青少年活動委員会

委員長	瓦谷 勝	(大 阪 西 南 R C)
副委員長	斎藤 清貴	(大阪ユニバーサルシティ RC)
〃	濱谷 和也	(東 大 阪 R C)
委 員	宮田 佳昭	(大 阪 平 野 R C)
〃	森田 邦治	(大 阪 心 斎 橋 R C)
〃	柴崎 秀樹	(大 阪 西 北 R C)
〃	長谷川 浩	(茨 木 R C)
〃	尾崎 孝	(大 阪 アーバン R C)
〃	上村 豊	(大 阪 南 R C)
〃	今井 卓哉	(池 田 くれは R C)
〃	吉川 大輔	(大 阪 梅 田 東 R C)
〃	北村 公一	(豊 中 R C)
〃	田中 弘	(吹 田 江 坂 R C)
〃	田中 明男	(豊 中 千 里 R C)
〃	金谷 和浩	(大 阪 フレンド R C)

○活動方針

新たな新世代事業としてロタキッズの試験運営を試みます。

地域社会の青少年の健全育成、ロータリー活動の広報またはローターアクト、インターアクトのリーダーシップ研修を目的とし開設します。

RYLA セミナーに関しましては、初級、上級の垣根をなくし参加しやすくして秋、春とも 40 人程度の受講生を募集します。

ホストクラブとの連携を強化し登録も人数の少ないクラブにも配慮した方法で進めます。また、今までの RYLA 運営を踏襲せずは無駄を省きます。ただ活動費を節約するだけでなく新しいことにもチャレンジしていく様にアイデアを出していきます。ホストクラブにも配慮し独自色を出していただくためには、許容のできる範疇で運営をしていただきます。ホストクラブが中心になり、チーム RYLA と青少年活動委員会が、密接にかかわることで有意義な感動を与える RYLA セミナーの成功を導きます。

新世代各委員会との連携・交流を強化し将来のロータリアンになれるように育成します。チーム RYLA の増強及びレベルアップに取り組みます。

また各クラブへの RYLA セミナー、ロタキッズ、チーム RYLA の広報活動を積極的に行います。

○活動計画

青少年活動委員会

2 カ月に 1 回、第 3 火曜日 18 時よりガバナー事務所会議室にて開催。

チーム RYLA 定例会

毎月、第 2 木曜日 19 時 30 分よりガバナー事務所会議室にて開催。

秋の RYLA セミナー

ホスト：大阪アーバンロータリークラブ

開催日：2016 年 10 月 8 日(土)～10 月 10 日(月・祝)

場 所：奈良県内 明日香地区研修所

春の RYLA ミナー

ホスト：池田くれはロータリークラブ

開催日：2017 年 5 月 3 日(水・祝)～5 月 5 日(金・祝)

場 所：不死王閣

ローターアクト委員会

委員長 坂田 淳一（枚 方 R C）
副委員長 山本 博之（大 阪 東 R C）
" 山中 直理（大 阪 R C）
" 青井 秀浩（池 田くれは RC）
委 員 中島 清治（大阪天満橋 RC）
" 舩 律子（大 阪 西 南 R C）
" 岡村 良弘（大 阪 南 R C）
" 宮野 純 （大 阪 北 R C）
" 鈴木 一正（茨 木 R C）
" 前川 経雄（東 大 阪 R C）
" 浦 収 （箕 面 R C）
" 宮岸 隆 （大阪御堂筋本町 RC）
" 菅本 泰年（新 大 阪 R C）
" 石川 益三（大 阪 難 波 R C）

○活動方針

本年、当委員会では 2660 地区各委員会との連携を取り、ローターアクト活動の発信、事業内容の精査、新規事業の立上げ、ローターアクト会員の増強をサポートして参ります。まずは地区内での青少年各事業において積極的に参加し、ロータリアンとの交流を深める事で、ローターアクトクラブの認知度を高めます。また、次世代のロータリアン育成の為に、ローターアクト一人ひとりにロータリークラブの魅力について伝え、RAC 活動の主役であるローターアクトと、当地区役員と共に行動し邁進して参ります。

○活動計画

（委員会の内容強化）

当委員会と RAC 地区役員との連携により、事前に会議の次第内容を提示し、資料の準備を整える事でスムーズな会議運営おこないます。時間・質共に有意義な会議とし、ロータリアンとローターアクトメンバーとの懇親を深め、お互いにより良い意見交換が出来るよう努めて参ります。

（2660 地区各委員会との連携強化）

各委員会と連絡を取り合い情報を共有し、青少年事業への積極参加と、また当委員会事業への参加依頼をすることにより、2660 地区全体の事業を活性化していきます。

（事業内容充実に向けた取組み）

引き続き全地区行事に地区ローターアクト委員の担当制を用い、地区 RAC 役員会、ホスト RAC 及びその提唱ロータリー委員会、当委員会との調整役となり、事業成功に向け努めます。

(将来のロータリアンへの環境づくり)

ロータリーの精神・ロータリーの魅力について、事業や懇親を通じて次世代のロータリアンともなる RAC メンバーに伝えて参ります。世代を超えた相互理解と新たな発見を図る事が可能となります。

(2660 地区青少年奉仕部門との連携)

2660 地区ローターアクトの活動を理解して頂く為に、青少年奉仕部門各委員会との連携を図り、青少年奉仕プログラムへの積極参加しロータリーファミリーの一員として役割を果たします。

(各事業の内容精査と予算編成・新規事業)

例年継続されている事業も、時代の変化と共に事業内容や予算について再考する部分もあるかと思えます。形式にとらわれず今の時代にあった奉仕事業を展開し、ロータリアンと共に行動して参ります。

(RAC サポートシステムの活用)

本年度はロータリーパートナーとして、提唱・未提唱を問わず各ロータリークラブからの要請により、RAC サポートシステムの活用・実施を行います。地区他委員会や青少年部門各団体との共同事業にも積極的に取り組み、ロータリーファミリーとの交流や連携を図ります。

(会員増強)

RAC の提唱・未提唱を問わず各ロータリークラブに、2660 地区ローターアクトクラブの現状を理解して貰い、一人でも多くのロータリアンからの紹介や協力を頂けるよう努めて参ります。

(ローターアクト関連事業)

地区献血 (7 月 23 日・2 月 26 日)・7 地区交流会 (9 月 3 日・4 日)・全国統一アクトの日 (9 月 11 日)・海外研修 (9 月 16 日～20 日)・ローターアクト正副委員長会議 (9 月 24 日) 秋の RYLA セミナー (10 月 8 日～10 日) 四地区合同情報交換会 (11 月 13 日)・RAC サポートシステム事業 大阪ユニバーサルシティ RC (12 月 3 日)・地区連絡協議会 (1 月 22 日)・世界 RACDAY (3 月 12 日)・

全国ローターアクト研修グアム (4 月 15 日・16 日)・春の RYLA セミナー (5 月 3 日～5 日)・地区年次大会 (5 月 21 日)・リーダーシップフォーラム・新人研修会 (6 月 11 日)・合同役員会 (月 1 回)・北ゾーン連絡協議会 (月 1 回)・南ゾーン連絡協議会 (月 1 回)・池田 RAC45 周年 (2 月 19 日)

インターアクト委員会

委員長 小池 貢 (大阪帝塚山 RC)
副委員長 土屋 篤 (大阪天王寺 RC)
〃 小泉 祐助 (大 阪 R C)
委 員 田中 康正 (八 尾 R C)
〃 中西 広美 (八 尾 R C)
〃 三谷 順一 (守口イブニング RC)
〃 早瀬 祥人 (大 阪 南 R C)
〃 内本 繁 (高 槻 R C)
〃 中野 隆二 (大 東 R C)
〃 小浦 芳生 (大 阪 R C)
〃 松井 義明 (大 阪 淀 川 R C)

○活動方針

一人でも多くの生徒に入会、参加して頂きインターアクトクラブの素晴らしさを広め奉仕と国際理解及び親善を推進し健全な青少年の活動と育成を支援していきます。また、多くのロータリアンにも行事などに参加して頂き、活動の意義を広く理解してもらえるよう努めます。

(1) インターアクターのリーダーシップ

建設的な指導力を養成し、自己の完成を図るためにも、各事業の企画立案と実施に各校生徒の自発的、主体的な参加を促します。前年度の方針を引継ぎ、また変革しつつロータリアンと各校顧問との合同会議にインターアクターに参加をする機会を与え積極的な意見を述べていただきます。

(2) 青少年奉仕部門との連携強化

青少年活動委員会、ローターアクト、青少年交換委員会とは、ワークショップや地区献血などを通じ連携を図り、他の委員会の事業への参加を通じて他人への思いやり、他人の力になる心構えや喜びを感じられる機会を実践していきます。

(3) 現在インターアクトクラブのある 8 中学校・高等学校、8 提唱ロータリークラブとの情報交換や連携強化、さらに全国インターアクト研究会との情報交換や参加を促進します。

(4) 新クラブ創立、さらなる増加を目指し、提唱クラブの有無を問わず全ロータリアンに理解を深めていただき、参加を図るよう努めます。

(5) 昨年度設置された地区学友委員会と協力し、ロータリーの活動や奉仕をサポートします。

○活動計画

- ・海外研修：海外インターアクターとの交流を図る中で国際理解と親善を深め国際的視野を持つリーダーの育成に寄与します。今年は 8 月上旬に第 3860 地区 フィリピン・セブを訪問します。現地のインターアクターと共に奉仕活動として施設の訪問や交流会を行います。

ホスト：浪速中学校・高等学校 IAC（提唱クラブ：大阪帝塚山 RC）

- ・香港 IAC 受入：香港より来阪するインターアクターを受け入れ予定。学校見学や奉仕活動を通じ、交流を図ります。
- ・クラブ合同会議：地区委員及び各校顧問並びにインターアクター代表と共に活動方針の確認や活動計画、概況状況の報告及び情報交換を行います。（随時開催予定）
- ・年次大会：地区及び各校インターアクトクラブの活動報告を行い、奉仕の精神と活動意義の再確認を行います。（11 月 13 日予定）

ホスト：大阪桐蔭中学・高等学校 IAC（提唱クラブ：大東 RC）

- ・SCRUM 発行：1 年間の活動をまとめた「SCRUM」を編集・発行をします。

担当校：大阪国際大和田中学校・高等学校 IAC（提唱クラブ：守口イブニング RC）

- ・新入生歓迎会：各校の新入生と共に親睦交流を深め、奉仕の精神と活動への動機付けを目標に行います。（2017 年 6 月予定）

ホスト：大阪桐蔭中学校・高等学校 IAC（提唱クラブ：大東 RC）

青少年交換委員会

委員長 西邨 智雄（香里園 RC）
副委員長 片渕 正一（大阪天王寺 RC）
〃 出口 統士（大阪帝塚山 RC）
〃 川本 典美（大阪ネクスト RC）
委 員 横田 孝久（東大阪 RC）
〃 三好えり子（大阪そねざき RC）
〃 伊藤 定夫（大阪リバーサイド RC）
〃 生沼 寿彦（大阪うつぼ RC）
〃 藪本 恭明（大阪南 RC）
〃 奥 嘉隆（交野 RC）
〃 山本 宏樹（寝屋川 RC）
〃 松尾 治（東大阪西 RC）
〃 西川 雅章（大阪西 RC）
〃 一由 麻里（東大阪東 RC）
〃 大橋 秀典（東大阪東 RC）
〃 朝田 由治（大阪北 RC）

○活動方針

「青少年交換」は参加した学生だけでなく、それに関わるすべての人々が異文化に接する機会を得ることが出来、国際理解と平和の推進に役立つ重要な国際ロータリー公式プログラムのひとつです。参加した学生には派遣国での生活や他国からの参加者との交流で、生涯にわたって国際的に活躍出来る資質を身につけてもらうとともに、将来のロータリアンになってもらうべく奉仕の精神を身につけてもらえるよう、研修会等を企画してまいります。また交換期間を通じて、参加学生の目的遂行と安全確保のため派遣先との情報交換や危機管理体制の確立に努めてまいります。地区内に広くホストファミリーとして参加して頂けるロータリアンや協力家庭を募集し、このプログラムへの参加者の拡大に取り組んでまいります。

○活動計画

1. 青少年交換人数

長期交換派遣生（約1年間）：8名 短期交換派遣生

長期交換受入生（約1年間）：8名

交換相手国：アメリカ4名 カナダ1名 フランス2名 フィンランド1名

2. 研修会

派遣生候補生：1次選考後、プログラムの理解と語学力(発表力)の向上を目的として毎月1回(9回程度)のオリエンテーションを行う。

来日学生：オリエンテーション、研修旅行、ROTEX行事を通じて、日本文化とロータリー活動の理解を深めてもらう。

国際奉仕委員会

委員長 木田 昌宏 （吹 田 西 R C）
副委員長 前田要之助 （大阪東淀ちゃやまち RC）
〃 宮崎 正人 （高 槻 東 R C）
委 員 中尾 功 （摂 津 R C）
〃 塚本 英 （大 阪 北 梅 田 RC）
〃 東 健三 （大阪ユニバーサルティ RC）
〃 泉 光典 （門 真 R C）
〃 伊藤 智秋 （高 槻 R C）
〃 成田 博美 （大 阪 西 南 R C）
〃 柿本 円 （大阪リバーサイド RC）
〃 檜皮 悦子 （大 阪 中 之 島 RC）
〃 革嶋祐理子 （大阪そねざき RC）
〃 橋本栄次郎 （大阪フレンド RC）
〃 濱口 健宏 （大 阪 南 R C）
〃 山村 幸久 （大 阪 梅 田 東 RC）
〃 初木 賢司 （く ず は R C）

○活動方針

今年度の松本進也ガバナーの具体的目標の中に“**The Ideal of Service**”の「基本理念の周知と実践を第 2660 地区会員全員に周知し、その精神に基づいた地区活動・クラブ活動を推奨いたします。この実践的意味はロータリアンの活動が真に社会に役立つものであり、活動および成果が継続性を有し、相互的に享受し合えるものである。」とあります。

その目標の中、地区は、各クラブと RI のパイプ役であると同時に地区内の各クラブのリーダーを育成する研修機関であることを踏まえ活動すべきであります。

近年の国際奉仕活動はグローバル補助金申請におけるプロジェクトが多くなってきており、6 重点分野の更なる理解とロータリー財団との関わりが、不可欠となっております。この仕組みを理解しながら、国際奉仕を行っていただけるよう資料の作成や勉強会を行うことでクラブに対するアドバイスやそして発表の機会を作ることによって出向いただいているメンバーの資質を高め、自己の言動の成果を各クラブへそして社会へと還元していただけるような運営をしてまいります。

○活動計画

1. DG 及び GG・DDF の申請をサポート

- A.委員会メンバーに於いて IM 毎に 2 人 1 チームで担当する。
- B.財団委員会との連携
- C.ロータリー財団委員会と合同委員会を行い補助金申請の勉強会を行う。
- D.ロータリー財団 100 周年にあたり記念奉仕プロジェクトの推進をする。
- E.クラブより届いた補助金申請を審査する。

2. 国際奉仕プロジェクトの代表例を各クラブへ紹介し活動推進

- A.国際奉仕プロジェクト等の資料を委員会で作成する。
- B.クラブ委員長会議において国際奉仕プロジェクトに因んだ講演を行う。
- C.国際奉仕に関する卓話を所属クラブで行う。
- D.依頼クラブにおける卓話サービスを実施する。
- E.国際奉仕プロジェクトの理解と姿勢を備える研修を行う。

3. 各クラブの国際奉仕に関する活動状況を把握

- A.アンケートによりクラブ毎の国際奉仕活動の現状把握をする。
- B.国際奉仕事業へのアプローチや国際奉仕に対して消極的なクラブのサポートをする。

4. 海外クラブとの交流や友好クラブ・姉妹クラブ締結へのサポート

5. ニュースレターの発行

- A.姉妹クラブ締結情報・補助金使用による事業等を紹介する。

地区財団監査委員会

委員長 岩田 宙造 (大阪南 RC)
 委員 和氣 主 (大阪北梅田 RC)
 // 高谷 晋介 (大阪西南 RC)

ロータリー財団委員会委員会

委員長 宮里 唯子 (茨木西 RC)
 ポリオプラス小委員会 委員長 四宮 孝郎 (大阪西南 RC)
 資金管理小委員会 委員長 塩野 秀作 (大阪 RC)
 資金推進小委員会 委員長 大谷 隆英 (大阪柏原 RC)
 (PHS コーディネーター兼務)
 補助金小委員会 委員長 今西 良介 (大阪南 RC)
 委員 萬年 成泰 (千里 RC)
 // 松井 研次 (大阪東南 RC)
 // 岩佐 嘉昭 (東大阪 RC)
 // 井上 佳昭 (大阪西 RC)
 // 廣田 亮彦 (大阪北梅田 RC)
 // 嘉納 逸人 (大阪 RC)
 // 米谷 伸行 (大阪北 RC)
 // 岡本 幸治 (吹田 RC)
 // 高士 誠司 (大阪西北 RC)
 // 暁 琢也 (大阪南 RC)
 // 瀬川 昇 (吹田西 RC)
 // 柳山 稔 (東大阪西 RC)
 // 千種 成一郎 (大阪東 RC)

○活動方針

財団委員会(全体)	① ロータリアンの財団に関する知識と寄付を向上する ② クラブの財団プログラムへの参加を促す ③ 奨学金プログラムを担当し、提唱する ④ 財団 100 周年を祝う ⑤ 国際奉仕・社会奉仕委員会と協力し、クラブ人道奉仕の重点化と増加を図る
ポリオプラス小委員会	① 財団 100 周年を迎え、ポリオ撲滅についてのより一層の啓発活動を行なう。 ② ポリオプラス基金寄付の目標額を 60 ドルに設定し、理解度を深める事により達成を目指す。
資金管理小委員会	① 補助金の適正管理を徹底する

資金推進小委員会	① 財団 100 周年を迎え、年次基金寄付において 160 ドル/人、恒久基金寄付においてベネファクター1 クラブ 1 名以上増員を目標に設定し、理解度を深める事により達成を目指す。 ② ポール・ハリス・ソサエティーに対する情報を発信し、会員数増進
補助金小委員会	TRF の授与と受諾の条件および地区補助金ハンドブックに基づき、DDF 申請クラブに助言をすることに加え、DDF の配分が各申請クラブにとって機会均等となるように努める

○活動計画

財団委員会(全体)	① 地区ロータリー財団セミナー…2016 年 8 月@YMCA ② 地区財団補助金管理セミナー…2017 年 2 月@YMCA ③ 地区社会奉仕/国際奉仕委員会クラブ委員長会議における財団補助金セミナー ・国際奉仕クラブ委員長会議…2016 年 7 月・2017 年 1 月 ・社会奉仕クラブ委員長会議…2016 年 9 月・2017 年 5 月 ④ 国際奉仕委員会と合同研修会の開催(2 回) ⑤ 社会奉仕委員会と全クラブ参加型補助金活動の提唱 ⑥ 月度財団委員会・勉強会の開催 ⑦ 地区大会における分科会主催(財団 100 周年) ⑧ GG 奨学生の選考…2016 年 11 月
ポリオプラス小委員会	① 各委員長会議での啓発活動の活性化 ② ユニセフ等他団体との連携を通じたアピールの積極化
資金管理小委員会	補助金の適正管理をするための必要な情報を各セミナーや地区社会奉仕委員長会議・地区国際奉仕委員長会議にて提供する
資金推進小委員会	① 各委員長会議、セミナー等を利用し、寄付への理解、重要性が深まるよう情報を発信 ② 月度財団委員会で寄付状況を報告し、適宜各クラブへ資金推進の依頼を行う
補助金小委員会	① DDF 審査を実施 ② 少しでも多くのクラブへ活用いただくため、随時情報発信に努め、申請を推進

米山奨学委員会

委員長	古城 紀雄（千里 RC）
副委員長	田中 隆弥（池田くれは RC）
委員	石井 博章（吹田 RC）
〃	岡部 倫正（大阪城南 RC）
〃	鹿浦 英毅（大阪北 RC）
〃	堀田 修平（枚方 RC）
〃	堀 隆（大阪東 RC）
〃	久保 幸一（大阪難波 RC）
〃	山西 恵子（大阪城北 RC）
〃	生駒 伸夫（大阪 RC）
〃	大和田雅江（大東中央 RC）
〃	栗山 博道（大阪中之島 RC）
〃	清水 久博（大阪南 RC）
〃	廣瀬 彰久（守口 RC）

○本年度のテーマ

米山奨学事業で展開される交流は、ロータリアンと奨学生双方とが相互理解を深め、ひいては奨学生を日本のロータリー活動の理解者・支援者として世界に飛び立たせることを目指しています。同時に、ロータリアンにとってもこの交流を通じて学び高まることが期待されています。

そこで、本年度は「共に学び・高まり合おう！」をテーマに設定して、双方が永く協働してゆく基盤をつくるというスタンスで、本事業を進めることとします。よろしくお願い致します。

○活動目標

- (1) 米山奨学事業の意義への理解の浸透。
- (2) 複数世話クラブ制度の試行と定着化の検討と複数カウンセラーの推奨。
- (3) 特別寄付者割合並びに 1 人当たりの寄付目標(3 万円)達成者の、両方の増加を目指した寄付依頼活動の活発化。
- (4) ロータリー活動への奨学生の更なる活用と米山学友会(関西)との協働の推進。
- (5) 採用奨学生選考の透明化と出身国の更なる多様化。海外直接応募者の積極採用。
- (6) 他の委員会との協力もしくは共同プログラムの検討の開始。

○活動指針

- (1) 多様性ある奨学生受入れの利点を生かした交流事業の推進
- (2) 米山奨学事業への寄付は、最近 3 年間と同様に、普通寄付金と特別寄付金を合わせ、一人当たり目標を 3 万円に設定し、ガバナーとともに周知と依頼を推進。

- (3) 奨学生のクラブ配置に際して、透明性ある基準を継承。
- (4) 10月の米山月間に限らず、地区委員と米山奨学生は積極的に卓話依頼に対応。
- (5) 奨学生受入クラブでの交流の一層の活性化の協力依頼。また、複数世話クラブ制度を試行する2クラブへの支援強化。
- (6) 地区委員会と世話クラブが協働して奨学生の指導に努力。とくに危機管理の必要な件には早期に対応。

○主な行事予定

2016年

- 4月 6日(水) 2016 学年度新規・継続奨学生オリエンテーション(ヴィアーレ大阪)
- 6月 25日(土) 新旧委員等歓送迎会(場所未定)
- 7月 15日(金) 指定大学等の奨学金担当者との意見交換会(サニーストンホテル)
- 9月 3日(土) クラブ米山委員長・カウンセラー研修会(大阪科学技術センター)
- 10月 16日(日) 奨学生・カウンセラー対象レクリエーション(宝塚歌劇観劇)
- 11月 5日(土) スピーチコンテスト(詳細未定)

2017年

- 1月 28日(土) 2017 学年度奨学生選考面接(サニーストーンホテル)
- 2月 25日(土) 米山奨学生終了式・歓送会(千里阪急ホテル)
- 4月 5日(水) 2017 学年度新規・継続奨学生オリエンテーション(ヴィアーレ大阪)

<参考>2016 学年度新規奨学生の出身国(15ヶ国・地域 31名)

番号	国籍	新規採用数
1	中国	7
2	韓国	5
3	モンゴル	3
4	台湾	3
5	インドネシア	2
6	ベトナム	2
7	アメリカ合衆国	1
8	ブラジル	1
9	エジプト	1
10	フィリピン	1
11	インド	1
12	ネパール	1
13	ポーランド	1
14	ロシア	1
15	タイ	1
合計		31

危機管理委員会

委員長	泉 博朗（大阪帝塚山 RC）
副委員長	岩津 陽介（大阪御堂筋本町 RC）
〃	松井 圭子（大阪アーバン RC）
委 員	山本 和良（大 阪 南 R C）
〃	益田 哲生（大 阪 北 R C）
〃	間石 成人（高 槻 西 R C）
〃	菅沼 清高
〃	畑山 清史

○活動方針

ロータリーにとっての危機管理の危機とは地区内各ロータリークラブ、ロータリアンにとって「好ましくない事態の全て」を危機管理の「危機」とすると規定されています。危機管理委員会は規定された「危機」についてその防止・解決のために必要な提言や適切な指導・助言を行うと共に当委員会に報告のあった危機事案が対処事案かどうかを判断の上適切な対処の為の方策を講ずることを任務としています。

起きた危機に対処することも大切ですが、それ以上に危機の「芽」をいち早く見つけその危機の発生を未然に抑えることこそが大切だと考えます。

そのために各ロータリークラブ・ロータリアンの皆様には危機の「芽」を見つけた場合は速やかに危機管理委員会に連絡を頂きたいと思えます。

一年を終えてみて「今年は何もなかったですね」と言って終える委員会であって欲しいと願っています。

○活動計画

1. 現状に合った、総則、細則等の再編を行う
2. 危機管理について情報の収集、報告を行う
3. 情報の伝達が速やかに行われる体制を検討する
4. 危機管理に関する研修を単独、または他委員会の研修等に合わせて行う

地区学友委員会

委員長	溝畑 正信（東大阪東 RC）
委員	福田 治夫（守口イヰンダ RC）
〃	栗原 大（大阪フレンド RC）
〃	吉田 悦治（大阪大淀 RC）
〃	岩上 高幸（茨木西 RC）

○活動方針

学友の定義が変わり、ロータリーの学友には、ローターアクト、インターアクト、青少年交換、国際親善奨学金、グローバル補助金による奨学金、GSE、職業研修チーム(VTT)、RYLA、ロータリー平和フェロー、米山奨学生を含む、すべてのロータリープログラムに参加者が含まれるようになりました。

ロータリー活動の参加経験がある学友は、ロータリーにとっての有力な入会候補者となるだけでなく、クラブや地区の行事における講演者、プロジェクトの参加者、財団への寄付者として、ロータリーの活動や奉仕をサポートできます。学友会は、学友によるロータリーへの参加を促す効果的な方法となります。学友がロータリー財団のみでなくなったため地区の委員会もロータリー財団から RI の委員会として幅広く学友について扱うことになりました。

当地区では、地区学友委員会が昨年度より設置され、今年度は 2 年目となります。

昨年度は、ロータリー学友を 2015 年 12 月 5 日(土)に開かれた地区大会に招待し、その後「ロータリー学友の会」発足レセプションが開催されました。

今後、学友のロータリー奉仕活動への参加、ロータリークラブ入会、財団への寄付を促すほか、新しいロータリークラブ設立を目指します。

○活動計画

本年度当委員会は、

1. 学友の学友組織への参加を呼び掛ける
2. 学友の組織づくり
3. 学友集会の開催
4. 学友中心の新ロータリークラブ創設をめざす、そのための人材確保
5. 地区青少年関係の地区活動に参加
6. クラブへの卓話

地区大会実行委員会

委員長	鴻池 一季	(大 阪 北 R C)
副委員長	河田 一彦	(大 阪 北 R C)
大会幹事	山本 潤	(大 阪 北 R C)
大会副幹事	上島 一泰	(大 阪 北 R C)
大会会計	岩堀 雅彦	(大 阪 北 R C)
SAA	原 眞一	(大 阪 北 R C)
ホストクラブ会長	廣田 元孝	(大 阪 北 R C)

○活動方針

RI 会長並びに松本ガバナーの方針に基づき会員相互のネットワークを拡げ、感銘深い講演を聴き、地区における奉仕プログラム、プロジェクト、広報の成功を紹介することで会員の奉仕意欲を高め、クラブレベルを超えたロータリーのビジョンを共有し、思い出に残る親睦を経験してもらえよう、地区大会を計画します。

○活動計画

2016 - 2017 年度地区大会は 2016 年 12 月 9 日(金)～10 日(土)大阪国際会議場にて実施します。

大会初日は財団・米山顕彰者昼食会に始まり、本会議、分科会(会長・幹事・一般部門、財団・一般部門)、会員家族のつどい、RI 会長代理歓迎晚餐会を実施します。

大会 2 日目は本会議と基調講演を実施予定です。

大会のプログラムでは社会の問題について考えると共に奉仕活動の成果について認識を高め、100 周年を迎えた財団についてディスカッションして頂きます。

大会の計画内容は本年 1 月より実行委員会を 4 回開催し、ほぼその骨子が固まってきました。追って各クラブに広報チラシをお送りすると共に、ガバナー公式訪問の機会をとらえて松本ガバナーからも広報して頂く予定です。

地区代表委員 一瓢 秀次（大 阪 北 R C）

○活動方針

「ロータリーの友委員会」に、松本ガバナーの代理としてまた地区代表として、委員会に出席し、ガバナーの意向を踏まえた提言を行います。

ロータリーの友を、多くのロータリアンに読んで頂けるよう、また多くの記事を投稿して頂けるように奨励します。

○活動計画

1. 多くのロータリアンに読んで頂けるよう、また多くの記事を投稿して頂けるように奨励します。
2. 地区広報委員会に出来る限り出席し、地区情報を「友」の委員会に提言します。
3. 各クラブの例会時に、会長挨拶でロータリーの友の内容を取り上げて頂いたり、広報担当委員より記事を紹介して頂けるよう、情報を発信します。
4. 「友」への投稿を奨励します。
5. 「ロータリーの友」委員会の情報を持ち帰り、各クラブに発信します。

地区財務委員会

委員長	植田 昌克（大 阪 北 R C）
委員	吉川 邦英（大 阪 R C）
〃	沖中 隆志（大 阪 東 R C）
会計	河野眞一郎（大 阪 北 R C）

○活動方針

1. 地区会計の内容

地区会計は、一般会計・特別会計に大別されます。

- (1) 一般会計
 - ① 地区運営資金
 - ② 地区活動資金
- (2) 特別会計
 - ① 地区大会資金
 - ② 米山奨学生活動費
 - ③ 世界社会奉仕基金（国際奉仕基金）
 - ④ RI 規定審議会派遣積立金
 - ⑤ 危機管理積立金
 - ⑥ 地区基金

- (1) 一般会計は地区運営及び活動の中心をなし、「地区運営資金」と「地区活動資金」から構成されています。「地区運営資金」は地区主催の会議費、各種負担金、そしてガバナー事務所諸経費等が主たる資金使途となります。「地区活動資金」は地区に属する各種委員会の奉仕活動費です。
- (2) 特別会計は一定の目的に沿った収支や積立を計算管理する単独会計で、地区の重要行事である地区大会も特別会計に含まれます。

2. 基本方針

- (1) 会員一人あたりの負担額は前年度と同額とします。
- (2) 配分については、ガバナー月信のペーパーレス化による運営資金の支出削減を活動資金に割り振れることから、「地区運営資金」は前年度 10,000 円のところ今年度は 9,500 円、「地区活動資金」は前年度 7,000 円のところ今年度は 7,500 円とします。
- (3) 前年度と同様に、単年度において収支が黒字となるように緊縮予算を策定しました。

地区規定審議委員会

地区代表議員	大谷 透	(大阪西南 RC)
地区副代表議員	岡部 泰鑑	(大阪城南 RC)
直前地区代用議員	横山 守雄	(大阪中央 RC)
直前ガバナー	立野 純三	(大阪 RC)
ガバナー	松本 進也	(大阪北 RC)
地区代表幹事	浜田 晋	(大阪北 RC)
地区担当委員	四宮 孝郎	(大阪西南 RC)

○活動方針

ロータリークラブがその目的を明確に保ちつつ、その活性を維持・発展させていくためには、変えてはならないものを健全に保持しようとする理性と努力、時代の経過に応じて変えるべきものを変える勇気、そしてその両者を識別する智慧が求められる。そのために開催される RI 規定審議会への関心を高め、立法案提出の活性化を図る。

クラブから提出される立法案が、手続きを踏んで、RI 規定審議会で審議されるように、その内容や提出方法・期日などに関して、各クラブの相談に応じ、支援する。

○活動計画

- (1) 2016年4月の RI 規定審議会で採択された立法案をよく理解し、ガバナーを助けて、各クラブの定款・細則の整合性維持に務める。
- (2) 2019年4月に予定されている RI 規定審議会にクラブ又は 2660 地区より提出される立法案は、所定の手続きを踏んで、2017年12月末日迄に届け出る必要がある。ガバナー、ガバナー補佐とよく連絡をとり、立法案を検討し、期日を逆算して地区大会にて承認され、提出期限までに提出ができる様に支援する。
- (3) 提出された立法案は、地区内への理解を広めると同時に、RI 規定審議会での採択へ向けて努力する。
- (4) 毎年オンラインで審議される事になった決議案の審議にも、積極的に関与すべく努力する。

ガバナー指名委員会

委員長	立野 純三（大 阪 R C）
委員	岡部 泰鑑（大阪城南 R C）
〃	高島 凱夫（大阪中之島 RC）
〃	福家 宏（八尾中央 RC）
〃	泉 博朗（大阪帝塚山 RC）

○活動方針

当委員会は、ガバナーノミニー選出に関する RI の細則に基づき、2019-2020 年度の当地区ガバナー候補者を選出すべく活動致します。

意義ある業績賞委員会

委員長 立野 純三（大 阪 R C）
委員 福家 宏 （八 尾 中 央 R C）
〃 泉 博朗（大阪帝塚山 RC）

○活動方針

RI 章典によりますと、「意義ある業績賞」は重要な問題またはニーズに取り組むクラブの活動を地区で表彰するプログラムであると定められております。その目的は、全てのクラブに新プロジェクトを奨励し、かつクラブが模範的な活動を行うことの重要性について理解を深めることであり、下記の事項を満たすものでなければならないと記されております。

- 地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むもの。
- 殆どの、又は全てのクラブ会員が、単に財政面の奉仕ではなく、身をもって奉仕活動に参加し、クラブの規模と資源に比例するものであること。
- 地域社会において、ロータリーのイメージを強化するものであること。
- 他のロータリークラブも実施出来るようなものであること。
- 表彰年度に進行中、或いは完了されたものであること。
- 単一のロータリークラブによって実施されたものであること。

当委員会は、以上の条件に基づき、受賞資格クラブを検討し、地区ガバナーに受賞候補クラブを推薦いたします。